

議会報告会・意見交換会記録

1 日 時 令和5年4月18日(火) 午後7時00分 開会

2 場 所 妙高高原保健センター研修室

3 出席議員 5名

広報広聴委員長 高田保則

総務委員 宮崎淳一

産業経済委員 丸山政男

産業経済
委員長

阿部幸夫

厚生文教委員

関根正明

4 市民出席者 7名

5 事務局員 2名

局長 阿部光洋

係長 霜鳥一貴

6 件名

議会報告会・意見交換会

1) 開会

2) あいさつ 議会報告

3) 意見交換 「インバウンド観光対策と移住者サポートについて」「空き家対策について」

4) 閉会あいさつ

5) 閉会

1. 開会

○司会（関根正明） 定刻になりましたので。ただいまから議会報告会・意見交換会を開会いたします。

皆さん、本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。妙高市議会では、平成27年3月に制定された、議会基本条例に基づきまして、開かれた議会の推進する取り組みの一つとして、議会報告会・意見交換会を開催しております。今年度は18日、19日、20日の3日間。妙高高原、妙高、新井の3つの会場で開催して参ります。本日は妙高市議会議員のうち、本日担当議員5名で進めさせていただきます。最初に議員5名の自己紹介をさせていただきます。産業経済委員長から。

○阿部議員（阿部幸夫） 皆さんこんばんは。産業経済委員長を仰せつかりました阿部と申します。よろしくお願いいたします。

○高田議員（高田保則） 皆さんこんばんは。副議長、今回主催の広報広聴委員長をやっています高田でございます。よろしくお願いいたします。

○宮崎議員（宮崎淳一） 皆さんこんばんは。総務委員会に所属をしております宮崎淳一

と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○丸山議員（丸山政男） 産業経済委員会に所属しております丸山政男です。どうぞよろしくお願いいたします。

○司会（関根正明） 最後に本日、司会を担当させていただきます厚生文教委員の関根と申します。よろしくお願いいたします。

この議会報告会・意見交換会につきましては、後日、会議録の作成を予定しております。参加者の皆さんの個人名は公開されませんが、質疑や意見交換におけるみなさんや議員の発言につきましては、会議録としてホームページにて公開させていただきますので、ご承知おきください。また質疑や意見交換で発言される場合には、最初にお住まいの地区とお名前から発言いただきますようお願いいたします。また、この会が終わりましたらアンケートにご協力をお願いいたします。

それではただいまから議会報告会・意見交換会を開催いたします。お手元に配布させていただきましたレジメに沿って進めさせていただきます。

2. あいさつ 議会報告

○司会（関根正明） 初めに高田広報広聴委員長よりご挨拶並びに議会報告をいたします。よろしくお願いいたします。

○高田議員（高田保則） みなさん改めましてこんばんは。広報広聴委員長の高田でございます。本日は大変お忙しい中、また寒い中、お足元の悪い中お集まりくださいまして、議会報告会・意見交換会にご出席いただいたことに対して心よりお礼を申し上げます。日頃より本市議会の活動に対して、ご理解とご協力いただいていることに対しても感謝を申し上げます。さて私から、本日開催の議会報告会・意見交換会の趣旨と目的について説明をさせていただきます。まずは、市民の皆さんに、議会の取り組みを知っていただくとともに、市民の皆さんとの情報共有、意見交換の機会を設けております。いただいた意見を市長、執行機関に伝えることだけでなく、議会の活動につなげて参ります。市民の皆様方の負託にこたえるべく、安全安心な妙高市づくりに取り組んで参ります。まちづくりの政策決定過程への市民参加が、これからは重要になってくると思っております。最良の妙高市に導くため、皆様のご意見を議会として政策提言に役立てていく所存であります。ぜひ、忌憚のないご意見をお願いいたします。

さて、それでは3月定例会で審議しました、令和5年度一般会計予算について、概略について説明させていただきます。市民一人一人が幸せを実感できる妙高市へと発展させるため、SDGsを推進しながら、今年から始まります第三次妙高市総合計画に掲げる重点プロジェクト、戦略目標のほか、令和5年度行政経営方針を踏まえ、未来を担う子どもたちや若者の育成を推進し、社会環境の様々な変化に対応した魅力あるまちづくりを進める必要があります。市報みょうこうでご存知の通り、一般会計の当初予算額は218億4000万円で、前年度比8%の増でございます。予算額では16億2000

万円の増となっています。妙高市となってから4番目の予算規模となっております。

歳入は市税が全体予算の21.9%、地方交付税が30.2%を占めております。前年度予算との比較では、市税は個人市民税や法人市民税の増加などにより、7.5%の増額、地方交付税は国税の増収見込みにより2.2%の増でございます。市債、借入金ですが、公共施設の整備など普通建設事業に対する発行額が増加することから、3.3%の増を見込んでいます。また、繰入金は、市の貯金に当たる財政調整基金から6億1000万円を繰り入れることから、16.8%の増となっております。

歳出では、子育て、保育、高齢者福祉など、民生費の予算が最も多く、全体の22.2%。続いて土木費、教育費の順になっています。具体的にはご存じのとおり新図書館等複合施設の建設への着手、小中学生の給食費の完全無償化、橋梁の長寿命化や朝日町住宅の大規模改修工事のほか、省エネ性機能住宅の取得に対する支援の拡充など、実現するための予算として編成されました。また、議会の取り組みとしては、妙高市議会初となる議員提案による政策的な条例となります、仮称ではありますが文化芸術基本条例の制定に努めて参ります。令和5年、今年度の6月定例会で議決を予定しておりますし、現在パブリックコメントを実施しております。こちらにつきましては、みなさんの忌憚のないご意見をいただければありがたいと思っておりますし、そういうことでよろしく、コメントの方よろしくお願ひします。簡単でございますが、以上であいさつ並びに議会報告とさせていただきますが、最後に、私ども初めて議会として動画を作成しました。そういうことで約10分くらいですけども、どうぞご覧になっていただきたいと思ひます。この議会報告会・意見交換会は、皆さま方の前向きなご意見、アイデア等を聞かせていただき、これからの妙高市の発展に繋げて参りますので、よろしくお願ひいたします。

【議会紹介の動画視聴】

3. 意見交換「インバウンド観光対策と移住者サポートについて」

○司会（関根正明） 次に意見交換をさせていただきたいと思ひます。

今回はテーマを設けさせていただきました。1番目として、インバウンド観光対策と移住者サポートについて、2番目として、空き家対策についてになります。その後、テーマ以外のことについて、日頃みな様が思っていることやご意見等を伺いできればと思っております。

それではまず1番目のテーマ、インバウンド観光対策と移住者サポートについて意見交換をさせていただきたいと思ひます。以後は着座にて進行させていただきます。

皆さんの方からご意見等ありましたらお願ひいたします。

○市民A ○○地域の○○です。移住サポートについて私たちの地域で抱えている問題をお話したいと思ひます。昨年話しましたが、外国人に対しての地区の、区費の未納があるんですね。そのために、今年から英語版の説明書をつくるがために、年間3000円

の区費をもらうがために、5万円の予算をつけて英語版を作ったわけですね。どうしても年間の地区行事としての農道補修とか、農業用水のはた草刈とかいって半日ずつでるんですが、3500円ずつ2回で合計約1万円ぐらいなものに対する理解力ってのは何もないんですね。外人に対して。そして、どういう形で住んでいるかってのは、私たちに民泊としか言えないんだらうけれど、いて、あとごみの収集について、あるんですね。だから、どのように、対応していいかっていうのは私たちはわからないんです。日本語で言うところには郷に従えという言葉はあるけど、そんなの俺たちには関係ないんだという考えなんです。だから今ここで外人さんのことに対して、区費を払わないことに対して、今ここで許しちゃうと、日本人でも今度払わなくても道理が通っちゃうんですよね。だから、市の条例とか何かで規制してもらわないと。もう温かく迎えたけれど、温かく迎えることもできないんですよ。これからどうなるかわかりません。払ってくれるからいいとか悪いとかの問題じゃなくて、だからあるときに夜なんか、敷地の中でごみ燃やした2メートル以上の火柱上がってるわけですね。だからそういうことに対してもどのように注意するかって、もう消防署呼ぶしかないんですよ。だからそういうこともあったんで、皆さんどう思いますかということ私は言いたいです。だから、外人さんについてもうそうだし、それはそれで終わりですが、空き家対策に対しても、横道に反れるかもしれませんが、妙高市出身で、日本で一番有名な人といえば、ヒカキンだと思います。その家もこっから歩いて約5分ぐらいのところの家があって、借地に家があるんですが、放棄したと言われても地主は困ってるわけですね。だから、雪が降って、道に面していて、あった場合どうなるのかな。雪が落ちて、けがしました。実際的な話で、空き家ではないけれど、赤倉で40年45年前に1回ありましたよね。半身不随になって裁判になったけどやっぱり負けましたよね、持ち主が。だからそういうこともあるんだから。市の条例で何とかできないかなと思います。以上です。

- 司会（関根正明） それでは2番目の空き家についてはまた後程お答えさせていただきたいと思いますが、その前に移住者のことについて委員長の方から。
- 阿部議員（阿部幸夫） ありがとうございます。地域でそのような形の中でお困りになっているということは非常によくわかりました。ただ、行政の立場から見たときに、それぞれの地域によって、会費の値段の問題や、また地域によって対応の仕方がいろいろとあるかというふうに思います。それにおいては、言葉の違いやら、いろいろ生活の違いなどもあって、日本の文化、歴史、そして、そういった中身が理解してもらえないってことがあるかと思いますが、これについては、やはりその地域で、自治で、やはりそこへ入ったときに、きちっと話を作り上げていくしかないんじゃないかなというふうに、私どもは思います。特に妙高市は非常に妙高高原から旧新井市まで広いエリアで、生活環境もいろいろと異なる部分があります。行政的にはその課の中で、いろいろと今後、今日の意見を1回持ち寄ってですね、話し合いはさせていた

だきますけれど、そういった側面もありますので、ひとつ、その点についてもご理解をいただきながら、いずれにしましても、本日の意見をですね、1回話し合いをしながら、皆さんの方にまた結果をですね、ご報告させていただくということでご理解いただければと思います。以上です。

○司会（関根正明） よろしいでしょうか。

○市民A だから、どう言っているのかわかりませんが、これがいい意味で、何も去年から私発言してやっとな、6月の定例議会じゃなくて9月か、の定例議会で去年、本会議で、議論しましたけれど、なんかみんな後手後手というか、2年前にここで私も発言しましたが、私たちの意見聞いてね、議会として、何にもINGがついていないということ、今の議長の前で言ったら、議長はにやっとな笑ったけれど、それ以上の進行が何もありません。ただ、交換会やった、報告会やった、やらない、やっとなに変わらないだけの話なんです。だからそういうことを、議員さん一人一人に聞いてそういうことを、みんなでいわゆる私たちが思うには、一番身近な問題なんです。以上です。

○司会（関根正明） 議会の方でご意見等ありましたら。

○高田議員（高田保則） ありがとうございます。その問題はですね。以前に総務委員会の中で、ニセコへ実は視察に行ったことがある。ニセコはこれよりも何十年前から、外国資本が入って、外国人移住者がいます。最初はカナダが中心だったんですが、最近、中国だというような話を聞いてますが、そのニセコがどういう対応をとったかという、この行政主導かちょっとわかりませんが、いわゆる、関連会社、そういう外国人さんのための施設を管理したり、行政とのつながりをしたいというような管理会社ができていたんですね。倶知安町ですかね。意外とそういう問題はないというような話を当時はしていました。民間でかはちょっとわかりませんが、どういう形でこういう管理会社をつくれればいいのかわかりませんが、そういうものができればですね、外国人さんとのコミュニケーション、そういうコミュニティの問題というのは、ある程度解決されるんじゃないかというふうに思っておりますが、それをどうやって作るかっていうことはちょっと今のところは、私どももアイデアがないのが現状です。以上です。

○市民A だからその時に、いろいろ、去年の区長もいろんな勉強して教えてもらったのは、いろんな人の話を聞くと、強制的にお金が取れるのは税金だけなんだと。それ以外に対しては、強制力がないから今の状態になっちゃうんだと。だから、税金というものもあるだろうけれども、市の条例で何とかありませんかというのは私の意見です。以上です。

○阿部議員（阿部幸夫） 今の意見は条例でということでありました。持ち帰って話し合いをさせていただきますが、条例となるとですね、大変な形になるかというふうに思いますし、一方で、これから移住、定住で来てもらわなくちゃいけない、そういう

側面もあろうかというふうに思います。両面を考えながら、1回持ち帰って、またご回答させていただきます。今、高田議員の方から話がありました。一つは、近隣の白馬もありますので、そちらの方の状況も聞きながら、私ども勉強させていただき、そして皆さんにご報告をさせていただくような形をとりたいと思います。それでご理解いただければと思います以上です。

- 司会（関根正明） 皆さんの方から、インバウンド観光対策と移住者サポートについて、何かご意見、質問等ありましたらお願いします。
- 市民B ○○倉区の○○と申します。まず私がお話をさせていただきたいのは、今のかたの件で、区費のことでちょっとつけ足しさせていただきたいんですが、私どもの東赤倉区もやはり同じ問題をかかえているんですね。これは区費の問題だけではなくて、実際に特にこのコロナの間に外国人のかたたちは来れなくて、4件も5件も空き家と同じような状態で、しかも大雪の2年前の雪ですね、その時に本当に大変なことになったんです。言葉の問題もありますから、私が結局外国人とそれから区民の間になって、各外国人のかたたちと連絡を取り合ったんですけども、外国にいるかたにしてみれば、お金のかかることでもあるし、実際のことよくわからないしということで、ある意味では、言葉は悪いですけども無責任な形で終わってしまったんですね。警察沙汰になったところもあるんですが、警察もやはりこれは警察がかかわることではないと。民地なので一切うちは関係ないということで、私たちももうどうしていいかわからないというような状態も起こることだったので、私個人の意見としては先ほどのかたとも同じなんですが、区費、それから、結局、外国人に限りませんけれども、今の場合では外国人がメインで、今、妙高市の空き家、それから住宅、土地を買われているんですが、そういった時にやっぱり責任を持って、こっちに来ていただきたい。ただ、お金を落とすためにこっちに来てもらうからウェルカムだよ、いらっしゃってって受け入れるのではなくて、ある程度の決まりってというのは、妙高市の方で作り上げてもいいんじゃないかと思うんですね。ですから、法律まではいきませんが、ここで家を持つにあたって妙高という豪雪の場所なんだから、雪のことについては、ここまでは責任を持って家を買いなさいと。万が一コロナのようなことがあって来れないことがあったときには、こういう決まりがあるよと、あなたが来れないんだったら、業者に頼んでお金を払ってこうしてもらわなきゃいけない、そうしないと他の住民に迷惑がかかるよといったような、感じで区費と同じようなことですが、こういう決まりがあるということを説明できるような条例まではいかなくても、何かもう一つ手前ものを作っただけなら、もっと気持ちよく、これからの新しいの移民のかた、私もここに来てようやく8年になるんですけども、もっともっと妙高市にやっぱり来ていただきたいなと感じるんですね。ただ、だからといって誰でも受け入れていいのかというと、今まで8年間の経験でそれとも違うなとわかってきたので、やっぱりここは皆さんの、市議会議員さんの力を借りて、何とかしてい

ただきたいと思います。それが一つなんです、いいですか続けて。

今度はインバウンドの方なんです、インバウンドの関係も、妙高市は観光地ということで、もっともっと外国人もちろんそうですけれども、日本人の観光客のかたたちにも来ていただきたい、妙高市を知っていただきたいと思っておりますが、話をしていることを、こちらの受け入れ側がなかなかついていけないという感じがするんですね。一番まず最初の入口になってますが、これは何年も何年も、議会のときにもそれから一般の市民の中でお話に上がりますが、まずは妙高高原駅。ここはとっても使いにくい駅になっていまして、外国人のかた、長期の滞在でいらっしゃるかたが多いので、電車で来られて、大きな荷物を持って、プラットホームの階段上がってくるときに、大きな力を持った人たちはいいんですが、小さなお子さんを連れた家族のかたたち、それから年配のかた、荷物を持っての移動は本当に一苦労なんです。それを私たち宿の者が手伝いに行くと、ホームの中に入るとホームの中には入場券がないと入れないぞという、ちょっと日本語がわからないうちの夫は怒鳴られてしまったんですが、でもそれもやはり何とか妙高に着かれたときに、いらっしゃる、ようこそと迎えたい気持ちで、そういうふうなことになってしまったんですが、ちょっと話が反れました。まず駅のこと、何とかもうそろそろ行動に移していただけたらと思います。

それから、道路なんですけれども、やはり冬の間には大きな除雪機が入ります。春になりますと道路がガタガタなんです。そのガタガタを私も直接、市の方、県の方にもお願いしてるんですけれども、なかなか妙高市の方、特に赤倉の県道 39 号線なんです、豊橋の交差点から一番観光地としてはメインとなっています赤倉温泉に向かって行く道、それと池の平の方に向かっていく道、ここが一番後回しになっているような感じがするんですね。新井の方、それから他のところを、たまたま買い物等で通りますと、そちらの方は結構頻りに道路の方も整備がされてるんですが、こちらの観光地となっているところがなかなか手がつけられていないと。交通状態も非常に危ない状態であるんですよ。観光ホテルのすぐそばにある、例えば具体的な例ですけど、橋が、あそこは歩道がついていない橋なんですけれども、外国人のかた、冬、皆さん歩かれます。グリーンシーズンの時にも観光客のかたたち、日本人でも歩かれるんですが、あそこも上から下ってくる車は非常に飛ばします。ひどいときには 100km くらい、本当に飛ばして来るんですが、歩道がないので、帰ってこられたお客様が、こんなに怖い観光地の道は初めてだとおっしゃるぐらいに、もう、お客様の方から、それこそ署名運動しますよって言うてくださるかたたちがいらっしゃるほど本当に危ないんですね。ですので、そういった現地の様子っていうのをもう少し、市のかた、それから議員のかた、実際に歩いてみて、どのぐらい危ないのか、経験して、目で見ていただきたいというのが、私からのお願いです。

○高田議員（高田保則） まず道路の問題ですが、私、3月31日に当時の上越振興局長とちょっと交流がありまして、その話をしたんですが、私が望んだのは県道 39 号線、駅

から笹ヶ峰までの、笹ヶ峰線という 39 号線になります。それと二俣から杉野沢までの 399 号線の新赤、東赤倉、池の平、杉野沢、その道路に、実は私もずっと通って、今おっしゃったでこぼこがあるってんで非常に危険だといういことで、局長にはお願いしたわけですが、完全な補修はしなかったんですが、1 週間くらいでおおまかな補修はされていたようなことなんですけども、私、昨日も通りましたけども、いったん補修して埋めた部分が剥がれているところもありますんで、それはこれからまた振興局の方へ、またお願いをしたいというふうに思いますし、なかなか市の建設課からいくっていうのは、なかなか市民の皆さんの声がないと届かないような感じがありますので、私は今回個人的にやりましたけども、なんとかその辺の県の、については対応を議会としても対応していきたいなというふうには思います。以上です。

- 阿部議員（阿部幸夫） インバウンドのお話がありましたので、私の方から少し説明をさせていただきたいと思います。まず妙高高原の駅舎の問題です。私もこれについては本当に一般質問と委員会で、妙高高原じゃなくて私は旧新井市の方の人間なんですけど、友達がこっちにいるもんですから何とかしてくれということですね、いろいろ熱心に言ってこられたから、私も一生懸命、市長を初め、お願いをしてきました。新たな城戸市長になりまして、やっと自分の政策の中に妙高高原駅にエレベーターをつけるということをですね、一つの公約として掲げました。従って、これから市長の方はですね、多分検討を、具体的な話をですね、進めていきたいということも、公の場でまだ回答してませんが、そのような気持ちですね、おられますし、また、トキめき鉄道の方とも、しっかりと連携をとりながら、総合的な判断がされる中で、皆さんに、できれば早くそういった方向付けをしながら、ただ 1、2 年ですぐ結論が出るかっていうとなかなかお金の問題や予算関係がかかかりますので、一つその点ですね、方向としてはそういう方向で今、進めようとしているということをご理解いただきたい。ただ、お年寄りの皆さんから、非常にあの階段は日常的に何とかしてくれと、こういうお話も、生活している皆さんから言われています。従って私もバリアフリーで、これは国の方がバリアフリー、国内を何とかしようということで方向付けされておりますので、その点についても、一般質問の中で訴えてきてますので、その点をご理解いただいているようですので、何らかの形で、これも多分、いろいろと検討されるかというふうに思いますので、委員会の方でそれが出てき次第、また皆さんにご報告をしていきたい。こんなふうに思っておりますので、一つ期待をしていただきながら、なるべく私らも実現に向けて早く取り組んでいきたい、そんなふうなことを今日は皆さんにご報告をしていきたいというふうに思います。一つまたいろいろと意見ありましたら、お願いをしてですね、回答にさせていただきます。よろしく申し上げます。

それともう一つすいません。道路の問題。私、観光商工課、観光関係なんですけど、建設課の方も委員会で一緒なもんですから。わかりました。さっき司会の方からあり

ましたが、私の方で建設課の係長なり役職を持っている人と一緒に、私も一緒に見に行きます。従って、その件についても、皆さんに回答できるようにしていきたいというふうに思いますので、一つよろしく願いいたします、以上です。

- 司会（関根正明） 実際に私もあの道路をよく通るといえるか毎日通っているんですけど、非常に危ないっていうのは重々承知していますので、私の方からもかなり県並びに建設課の方にはお話ししているんですけど、なかなか実現にいたらない、歩道もあそこに、途中に支柱があるので、それが全部除雪できない状況になっている。赤倉からの曲がり角のところがそうなんですけど、あそこが一番見えないんで、非常に危ないんで、広告塔のあれを取ってくれば除雪になるんですけど、あそこだけ盛り上がりちゃってね、その辺が一時期、お願いしたんですけど、なかなか、本来、県からは歩道の除雪まで請け負ってないっていう言い方だったんで、これからまた我々の方からもまた上げていきたいとしますので、よろしく願いしたいと思います。

それと今の駅舎のエレベーターの問題ですけど、一応まだ確定はしてないんですけど、構想としては今年基本設計をして、来年本設計になって、その次の年かその次の年に完成っていう方向だと思います。3年、4年かかるんですけど、我々としてはなるべく短くするように努力していきたいとしますので、またその辺のご理解をお願いしたいと思います。

それでは、他に何かございませんか。

- 市民C ○○の○○と申します。今はですね、インバウンドの大きな荷物を持ってきた方を補助するために、ホームまで出迎えに行くと。それで入場券が必要だと。これは妙高市と駅とで話をし、お客さんの出迎えなんだという話をすればですね、入場券がないから入られないなんていう、その辺はすぐに解決できるような気がしますんでね。ぜひその辺のところは行政を通じてでも結構でございますし、旅館、ホテルの皆様方の努力を、ぜひ、入場券がなければ入れないということのないような形で話をいただければと思います。

それでインバウンドの関係でございますが、今は冬のスキーシーズンが中心で、グリーン期についてはですね、あまり来られていない。妙高市におきましては、日本100名山が、一つのまちに三つあるんですよ。そういう中ではですね。もう少しグリーン期におけるインバウンドの誘客っていいですかね、その辺に力を入れたらどうかなと思ってますんで、ぜひ議会の方でもそういうスタンスでやっていただければと思います。

一つはインバウンドも、移住者サポートの次の空き家にも関係すると思うんですが、常任委員会でそれぞれの活動されているんですけども、今回3地区で議会の意見交換という中で、項目を設けてありますよね。それぞれ非常に市民にとっても大事な部分の中では、やはり行政と議会との車の両輪ってということで、両方とも市長も議員さんも選挙で選ばれると。そういう中では、市長は1人でございますし、議員さんは今度

は 16 人ですか。現在 18 人いるわけですから、圧倒的に市民の声を聞く場面では、議員さんの方が多いんですよ。そういう中では、もう少し、例えば移住者サポートっていう部分の中では、特別委員会を設置してですね、行政との中で、一般質問ではなかなか限界があるような気がするんですが、上越市を見ますと、結構特別委員会ですね、議会と行政との率直な意見交換をされているので、いくつか特別委員会を設けても、私はいいような気がしてるので、そういう提案をさせていただきます。

それから外国人の関係ですが、今までは観光地の建物を外国人のかたが買うっていうケースが多いんですが、だんだんと輪を広げて、私の住んでるところは全く観光地じゃないんですけども、外国人が家を買うというケースが出てきました。そうすると地域に住んでる方々は、日本人が来て住んでくれるのはありがたいけども、外国人のかたは、先ほど〇〇さんのお話にあったような形でですね、やっぱりなかなか難しい。例えばごみの分別なんていうのはですね、地元で説明しろと言ってもなかなかできないケースってのがあるんですよ。その中で、外国人の方が家を買った。あるいは住民登録をするっていう部分で、行政がどの程度外国人の皆さんがたに、説明をし、指導してるのか。先ほど条例その他ではなかなか難しいっていう面がありますが、行政指導要綱というような形で設ければですね、ある程度、その部分、受け付けの窓口の段階でご指導するというのであれば、強制力はないとしても、地区の町内会長が説明するよりもですね、むしろ強制力が出てくるような気がしますんで、ぜひ一つ力のある地域の皆さんがたは、二俣さんのように 5 万円もかけて、パンフレット説明書を作るんですけども、力ないところはですね、地元の、私ら関川では常会長っていうんですけども、常会長が説明しろと言ったってなかなか難しい。それから、最近の分別があんだけ細くなってきて、日本人でも集める業者さんが、いや、これは違うんで置いていかれるわけですよ。そんなことを考えると、もう少し行政の中で、これだけ外国人の方々が来ていますから、専門の係ぐらい設けてですね、そういう人たちの指導する、担当を設けていただければなっていうことで、提案をさせていただきます。また議会の中で検討していただきたいと思います。

それから、先ほどの道路の関係ですが、関根先生、高田先生の方で、県の方についていう面もあると思うんですが、私はやっぱり、個々の議員さんが振興局、その他に要望するっていうよりも、妙高市議会ということでですね、公文書で、要望するとかですね、担当委員長が、その要望書を持って県とかにお伺いするっていうことになると、県の方もですね、大分その辺のところは個々で議員さんよりも、妙高市議会っていう形で要望していくっていうのが大事じゃないかなと思ってますし。多分、県の方も一定の舗装のですね、補修の基準ってのはあるだろうと思うんですが、先ほどのお話のように、やはり観光地でお客さんをお迎えするっていう部分の道路ってのは、やっぱり一番大事に考えていただければ、観光地としての市の助成の努力ってのは必要でありますんで、先ほどの赤倉線の関係もですね、歩道の関係の除雪云々ってありますが、

国道でも県道でも歩道除雪やっているところはやっているわけですよね。市道でもやるところはやってありますんで、交通安全対策上危険な場面については、全部やれてことじゃないんで、その辺は重点的に各地域の各市議会議員さんが、地域からのいろんなお話を聞いてると思うんで、ある程度集約した中で、定期的にですね、振興局とのそういうやりとりをやってもいいんじゃないかなと思っています。以上でございます。

○高田議員（高田保則） 先ほどちょっと答弁さしていましたが、私個人で今まではやってきましたけども、これからは議会として対応していきたいという考えでございますので、そのへんのご理解をお願いいたします。させていただきます。

○丸山議員（丸山政男） 一言だけお話をさせていただきます。先ほどから駅の問題、大変辛く皆さんに言われております。議員の皆さんも本当に頑張って、駅問題はみんな、全員がそれこそ行政には要望してるんですが、今だって、今度市長になってからちょっとね、ちょっと前に進んだかなあというふうに感じはしております。いずれにしろ皆さんの要望がそういう形で、こういう皆さんとの懇談会によって反映されれば大変私はありがたいと思います。私もちょっと何もできないできたんですが、ちょっと病気などしてね出られなかったんですが、皆さんのこれからのご活躍、あるいは私ちょっと思ったんですよと。ごみ問題、常会の問題なんかも先ほどから言われてましたけど、これは議員の皆さんも、役所にそういう担当のね、外国語ができる、そういう人がやっぱり必要じゃないかな、そんな感じをしております。以上なんですけど、ひとつよろしくをお願いいたします。

○司会（関根正明） 実際にごみの分別に関しては英語版も出てて窓口でご案内してると思います。それから、住むにあたって、この点に注意してくれとか、そういうのは、実際に窓口で今のところやっていると思いますけど、なかなか窓口にすべての人が来られるわけじゃないんで、その辺がちょっと難しいところがあると思いますが、英語版のごみ収集カレンダーっていうのがありますんで、またもし必要なら市役所の方にありますんで、よろしくお願ひしたいと思います。

あと、他何か。

○市民A 今、英語版だけとは言いましたけれど、去年の話で英語版を入れて全部で5か国語あるんですね。だから私、近所に来た、いわゆるアジア系の人だったから。チャイニーズかって言ったら、何が欲しいつたら、英語版が欲しいって言ったんで英語版をもらいに行きました。環境生活課では、一応なんか曜日が違うので、四つぐらいの種類があるんですね、曜日が違うやつが。だからそういうことを言って、市から4か国語、英語を入れて5つあるんだよということを相手にも説明しながら、理解していかんこう、相手の中に引き入れるっていうか、理解してもらいながら、ごみの分別してもらわないと困るわけですよ。だからしないで一番困るのは、ごみ小屋を管理している人たち、その日の当番の人が一番困るわけですよ。だからその時に、こないだ

日曜日にうちの常会っていうんですか、区で一応、一斉清掃の時にそういう話をしたら、集荷しないっていうか、持っていかないのはどういうことで持っていかないのかって言う、私、責任で言われたけれど、それは私が決めるんじゃないで、業者が決めるんであって私がここで答えるわけにはいかないんだと。だからそういうこともあるから、いかにその英語だけじゃなくて、あと4つあるんですから。みんなでいい意味で勉強したほうがいいと思うんです。以上です。

○市民D ○○の○○と申します。今、駅のエレベーターの問題出ましたけど。とにかく急がないと年寄りには待てません。私が入っている老人会も10年前は30人いました。今活動してるのは10人そこそこです。もうみんな家から出られません。必要な時に作ってくれなくて、いらなくなってから作っても、税金の無駄遣いだし、そんなの要りません。以上です。

○司会（関根正明） その点いかがですか。

○市民E 大きな国の人種の問題があると思うんだよね。例えばさっきの区費、ごみ当番の話、チラシとかだったら作れるけど、説明する人がいないと多分ちょっと理解してないと思うんだよね。僕の場合はちゃんと区費払っているから。実は、僕もこの区費は何のためか全然知らないけど、誰も説明してくれないけど、年に2回近所の奥さんが、○○さん8000円を入れておいてって。いいけど、外国人は区費とは何、何のお金、この金どこにいつているの。だから多分払っていない。だからそういうコミュニケーションの問題だと思うんだよね。だからちゃんと、これはこういうため、こういうふうにするからみんな払っているよとか、説明しなければならいと思うんだよね。ごみ当番のこともだよね。そういう習慣は外国にはないんだよね。みんな家の前にポンと出して誰かが持って行ってくれるんだよね。そういう説明をする人いないんだよね。チラシを作って配るけど、それで足りないと思うんだよね。誰か説明しなきゃならない。

あと、例えば外国人もビジネスもやっているし、市とか観光協会とかと外国人のビジネスのコミュニケーションまったくないんだよね。外国人はいつもこっちに来るんだよね。僕たちこれやりたけど市は手伝ってくれるか、この補助金申し込みたいけど誰か手伝ってくれるとか、こっちに来るけど僕答えがないでしょ。そういう間の人誰もいない。コミュニケーションまったくない。市と外国人、何考えてるか何やっているか多分全然分からないと思うんだよね。逆に外国人は、市は何をやっているか全然わからない。お互いのこと何やっているか全然わからない。外国人は多分協力したい。一緒に動きたい。市の人たちと手伝いたい、楽しいけど、どうやってやるといいか全然わからない。コミュニケーションする方法が全然ない。それば一番大きい問題だと思うんだよね。いろいろな外国人たちは自分のイベントとかやりたい。でも自分でできない、市とかが協力してほしいけど、聞くとそこで終わる。全然一緒に動かないみたいだね。外国人は一緒に動きたいけど、市は全然話にならない。間の人解

決するかわからないけど、それが結構大きな問題だと思うんだよね。

あと、いつも外国人1年中ビジネスやってる人、結構多いんだよね。例えば市の観光向けのプランとか、市は何を考えているか、みんないつも聞いてるけどね。あとはどういう人呼びたい、どうやって呼んでいいか、広告っていうか、いつも聞いてるんだよね。実は僕も知らないんだよね。市の観光プランは何だろうね。そういうコミュニケーションかなんか。

○司会（関根正明） 本当にコミュニケーションが一番大事だと思っておりまして、その点、〇〇地区で外国人がいらして、もう16年ぐらい経ってるんで、コミュニケーション、なかなか難しいところがすごくあって、いろいろやってると思うんでちょっと〇〇の〇〇さん。ちょっとその辺の状況をちょっとお話いただければ。お願いします。

○市民F 〇〇の〇〇です。

今回初めて、ちょっとどういう様子なのかちょっと来させていただいたんですけども、外国のかたとのコミュニケーションということになると、一番悩ましいところで、私たちが一番知りたいところなんです。やっぱり考えてることがわからないっていうのも、それ以前に所有者がコロコロ変わってしまっていて、例えば、先ほどの話に戻りますけれども、雪で建物が壊れてしまったとか、何かそういう状況になっても、一体誰に連絡したらいいかわからない。ちょっと個人情報のこともあるんでしょうけど、私たちはちょっとオーナーの所在ですとか、そういったことを知るすべもないっていうことで、やっぱり今、観光地として景観がとてつぶれた家屋ですとかね、ちょっと火事になった燃え後みたいなものが、一番大事なところ、その周りにとて目につくような状況なんです。そういったことで今、いない外国人に、どういうふうに責任取ってもらったらいいのかっていう、そういうことはやっぱりとても悩ましいところ。今、コミュニケーションって話に戻りますと、それこそ先ほど〇〇さんがおっしゃったみたいに、やっぱり何か間に入って、調整して下さるような組織ですとか、そういったかたを市ですとか、地域でちょっとそういう人をお願いしたり、そういうシステムがあればいいなんてことは日々感じている。

○司会（関根正明） この件いかがですか。

○高田議員（高田保則） コミュニケーション問題は、私ニセコの話をしましたけども、市の指導か民間が作ったものかわかりませんが、そういう管理会社があって、そういうものも紹介している。もちろん手数料は取るでしょうけども、そういう会社があるということで、ニセコ今、そういう問題があまりないっていう、そういう仲介する組織があるということが、一番大きなものだと思います。ですから妙高高原、赤倉を中心とした、そういう組織がこれからできれば、本当はありがたいんですけども、〇〇さんがおっしゃったように、そういうコミュニケーションができる組織が、今後は必要だという話。それはこれからも働きかけさせていただきたいと考えています。

○市民C 市の方へ要請したらどうですか。NPOを作ってもら。補助金出してでもね。

作るっていうことでね。

○市民A 去年、私そういう発言して、6月の定例議会である議員さんが質問して、一番前の市長、副市長、総務課長がいて、その場でどこが窓口になるかという議論、そこで初めてなったんですね。そうしたら、総務課が窓口になりますと、いやその前に私言ったのは、外人さんが2人ぐらい居たんですが、その人のうちの1人が、市役所に行ってもみんなたらいまわしなんだと。だから一つにしてこういうようにした方がいいよ、ああいうようにした方がいいよ雇用した方がいいよという話と、そのコミュニケーションとる間に誰かいた方がいいよねっていう話はしました。そしてその時にその人に、その人はハーフなんですけど日本生まれ日本育ちで、すごく日本語で理解できる人だった人がいたんですが、去年のうちに、旦那さんと一緒にまたアメリカへ帰っちゃったんですね、行っちゃったんですよ。だから今みなさん言うように、間に入ってくれる人もいなくなっちゃった。だから、今私たち、いるかないかの問題じゃなくて市全体で物事を考えないと、もうバラバラになっちゃうと思います。だから総務課が今どう考えてるのかっての私たちまだわかりません。以上です。

○司会（関根正明） はいどうぞ。

○市民B 今の件ですけれども、本当に小さな規模ですが、私は〇〇でいわゆるその管理会社ではありませんけれども個人で、区のためになればということでお手伝いしているんですけれども、やはりここまで来るとコミュニケーションがない、決まりがない、例えば区費についてですと、区費は一体どういうものかと聞かれた場合に、私も説明に困るんです。やはり日本の伝統的なものの部分と、現実的なもの、効率的なものとか、こういうものの説明ができないんですね。ですから、私もその間に入ってどうしてもできないんですよ。これで管理会社、ニセコの場合私も実は友人がその会社で働いたこともありますから、内容もわかっているんですが、やはりそういう会社をすぐに立ち上げることはできない。かといって個人の力ではなかなかできませんので、やはりここは行政もしくは市民のかたのお力を借りないとできないかと思えます。

それから、もう一つ、コミュニケーションの方で、ゴミのことですけれども、確かにごみの英語版があるんですが、これはみなさん見られたことあるかわかりませんが、非常に読みにくいです。本当に字が1ミリぐらいでわーっと、A3のところ、12か月分がだーって載ってるんです。その裏側に全部の説明が載ってるんです。これを読めと言われても、私でも読めません。ですので、やはりそこももうちょっと考えて、英語版があるからもうこれは読まない外国人の責任だよっていう感じで、やはり外国人の立場になってくれば外国人の立場になってくればネイティブですから、一度見てもらいたいと思います。

あとは、今回分別じゃなくて、新しい袋に変わりました。新しい袋には6円なり追加分のシールを貼らなければいけないんですが、それをやはり購入するのがわからな

い外国人といっしょに行ったんですけれども、英語の説明が全然間違っているんです。これが市が出している案内としては恥ずかしい話で、その場ですぐに、あまりにも逆のことを言っているんですね。ですからこれは違うから直した方がいいよということで、窓口で直させていただいたんですが、市でしたらやはり、お金を出してでもきちんとした翻訳のかたとか、もしくは市の中、もしくは〇〇さんは観光協会DMOの方でも関わっておりますので、〇〇さんに聞くとか、いくらでもきちんとした英語というのは書けると思うんですが、これを適当になんとか書いて説明されて、それがわからないから出し方を間違えているというようなのもちょっとおかしいのではないかなと思いますので、やはりそうなる最終的にはコミュニケーションの問題になってくるかと思いますが、私も本当に力になれるものであれば、いくらでもなりたいたいです。あとは、いろいろな日本人にいろんな方がいらっしゃるように外国人にもいろいろなかたがいらっしゃいます。あんまりこう常識を知らないかたもいれば、本当に日本人の妙高市の中に馴染んでいきたい、一緒になってやっていきたいというかたもいらっしゃるので、そういうかたたちのためにも、窓を広げてあげるにはやっぱり、コミュニケーションが必要なのかなと思います。

○司会（関根正明） ありがとうございます。

○阿部議員（阿部幸夫） ありがとうございます。先ほど来から聞いてまいますと、基本的にはいろいろな提案をいただいたり、いろいろしているわけですから、しっかりとそれを受けとめて、明日からですね、それに対しての回答ができるように、進めていきたいと思いますので、本日のところはそのようなご意見をいただいてですね、あと私たちが報告をしていくこと、一つは楽しみにしていただきながら、だめだったら後ろから怒ってください。高い席からこんな話をして申し訳ないんですが、しっかりと受けとめていきたいと思います。よろしくお願いします。

○司会（関根正明） 1番目のテーマについてはこの辺でよろしいでしょうか。

それでは時間も時間になりましたので、1番目のテーマにつきましてはこの辺で閉めさせていただきます。

3. 意見交換「空き家対策について」

○司会（関根正明） 2番目のテーマであります空き家対策についてに移らせていただきます。

先ほど〇〇さんから、質問があった点。一番最初のお答えいただきたいと思います。どなたか。もう一度質問してもらった方がいいですか。

○市民A いや、もういい意見でしかないでしょうね。それ以上こういうことしますとか、言ったところでどうしようもないでしょ。だけど人のことも、私たち言えた立場でないで、だから、こういうことがありましたよということだけですね。

○司会（関根正明） 皆さんの方から空き家対策について何かございませんか。

○市民C 私の方から提案なんです、空き家対策と地元の町内会が、一番ウエイトが占めてるんだろうと思うんですが、なかなか行政の立場の皆さん方が、地域の空き家、特に冬期間ですね、危険な状態、道路に倒れかかるっていうような部分もあるんですけども、なかなか市の動きってのが見えないんですよ。地元の区長さんが、連絡してもですね、なかなか権威がないっていうんですかね。そういう部分の中で私は地元の区長さん、それから行政ですね。例えば妙高高原地域であれば、支所の職員と、各町内会長さんで、困ってる部分を相談しながらですね、できればその所有者に対して、勧告っていいですか、取り壊しとか、そういう部分の中ではですね。市長、それから町内会長、プラス火災予防的な形で消防署、それからまた盗難等の関係で地元の警察署長。4者連名ぐらいのですね、しっかり職印ついてですね。取り壊し、危険だから、或いは火災予防面も含めてですね。そんな提案をさしていただきたいなと思っています。ただその中では、場合によっちゃ警察の皆さんがたは、及び腰になるかもしれないんですが、少なくとも消防署はですね。行政の守備範囲でありますんで、消防署長、地元の区長さんっていう部分は、何とか連名でですね、指導をするってことができるかなと思っていますんで、ぜひその辺のところ考えていただきたいということと、その辺にはもう少し妙高市の行政としてのですね、真剣な取り組みでやってるとは思うんですけども。我々地元で見るとは、あまり行政の動きってのが見えないんですね。できれば地元の区長さんとタイアップしながら、所有者に対して、対応っていうことを考えていただければなと思うんですが、いかがでしょうか。

○高田議員（高田保則） 空き家対策、議会として、何人かの議員が相当突っ込んだ議論をしているわけですけども、最終的には、行政は手が出せないというのは、やっぱり民法の関係ですね。それが一番、まあ国でもそんなこと言ってますけども、民法の所有権という問題が、非常に最終的には大きな問題になる。空き家でもいろいろな種類がありますね。最終的には妙高市でも特定空き家ということで公費を入れて対策をするという制度もあるんですけども、なかなかその所有権、甲乙ですかね。それから丙の第三者の件ですね。そういうものが非常にある場合は、なかなか妙高市としても、手が出せないというのが現状のようですね。

○市民C 私が言ってるのは、それは最後の話であって、その前段でそういう、3者、4者の連名のやつで取り壊してもらおうと。最後になって、潰れかかって代執行をできる、できないっていう問題じゃないんです。その以前の段階で、取り壊してくれ、危険ですよっていうPRもですね、勧告っていいですかね、それをやっていただきたいということなんです。最後の個人の敷地権の責任てのはあるでしょうから、そうじゃなくてその前の話ことなんです。

○高田議員（高田保則） それで私も一つの提案としては、住所移転。住んでいた人が、家があるのに市外へ転居する。そうするとそこは当然空き家ってことになるわけですよ。その対策を窓口でやったらどうかっていう提案はしてあるんですが。なかなか

窓口としては、その辺が、手が回らないといいますかね、そういう現状があるようです。なってからどうするかっていうのは、だから今言ったようないろいろな問題がありますんで、進んでいないっていうのが現状のようですね。

○司会（関根正明） 今、高田さんが言われたように連名では全然今やってないんで、それも一理すごくあると思うんで、その辺また提案していきたいと思いますが、それに一応市としては、勧告まで出しているところもありますが、それは市長名だけなんで、その辺、今いい知恵をいただきましたんで、またその辺を。

○市民C 地元と市長だけでなくでなくて、地元とタイアップしながらっていうことを言っているんです。

○司会（関根正明） そうですね。

○市民C 地元の区長さんも承知してる部分があるんだけど、市だけで出したって、なかなかわからないですね。だから対策会議的な、地元の町内会長と市がまず第一段階でね、タイアップするような形をとっていただければと思います。

○司会（関根正明） 特定空き家を指定するにあたっては、区長並びに地元と相談しながらやっていると思います。その辺をもうちょっと延長というか拡大させて、やっていただくように、またこちらの方から申し合わせしたいと思います。

あと他に何かございますか。

○市民E 自分の今後のために、妙高市の空き家ホームページあるんだよね。こっちの方に必ず毎月問い合わせが2、3回来るんだよね。そのホームページ日本語しかないんだよね。使い方もわからないし、どうしていいかわからないし、買ってほしいんだったら、そのページちょっと英語版なんかするかどうかかわからないけど、そうすれば僕、毎月何回も質問に答えなくていい。

○司会（関根正明） わかりました。空き家情報を英語版という形で…。

○市民E そう。

○司会（関根正明） 提案していきたいと思います。

○市民E みたいだから紙を書かなければならないし、市役所で何か、その方法誰もわからないんだよね。だから僕毎回説明しなきゃならない。その紙の書き方とか。それがもし英語で出せるんだったらありがたいです。

○司会（関根正明） 他に何かございませんか。よろしいでしょうか。

それではちょっと時間5分ほど早いですが、2番目のテーマについては、この辺で閉めさせていただきます。

3. 意見交換会「その他」

○司会（関根正明） そのあとに皆さんから、このテーマに限らず、日頃皆さんが思っていること、ご意見等をお伺いできればお願いします。

○市民D まずですね先ほど、傍聴に来てくださいということで、今制限していますよね。40 何席あるのが 20、18 ぐらい。これ事務局の仕事だと思うんですけど、それで5月8日から2類から5類になるってことで、それでもう開放してもいいんじゃないかと。私の意見です。

そして次はですね、阿部産業経済委員長にお聞きしたいんですけど、ここに私5月27日現在の常任委員会の名簿あります。そして行けなかったんですけど、YouTube 見てたら、他の委員会は5名以上出てたんですけど、3名しか出てませんよね。それで十分な審議ができたんでしょうか。

それと、これ今日は5人しかいませんので全体に言うんですけども、7月の議第3週に市議会議員選挙がありますね。その時私17回目。自慢じゃないんですけど、立会人をやることになっています。市議会は約70%ぐらいあるんですけどもね、市長になると60。先日の県議選では50と。これは何回も言うんですけど、議員さんが悪いわけではない。行かないのも自由です。わからんですけどもね。とにかくそれで去年城戸市長が新しくなりましたんで、皆さんもこれからもう一回出るかわかりませんが、これから7月に当選されるかたには城戸市長と一緒に、初めての当選の気持ちでやっていただきたいという希望です。

傍聴の件に関してはこれからちょっと検討いただいて、あとこの希望もね、ちょっと皆さんわかりませんが、阿部委員長だけに手短にお答え願いたいと思います。

○司会（関根正明） 委員長お願いします。

○阿部議員（阿部幸夫） ありがとうございます。

まず3月14日の3名の委員会ですが、基本的には3名でもですね、成立しているということでありますので、3名ではおかしいということじゃなくて、一応委員会は3名で成立しています。同時に委員長をですね、委員と同じような形で、皆さんもいろいろと見ておられたかと思いますが、一生懸命委員長を変わりながらですね質問をさせていただいた、ああいう姿というのは今までなかったというふうに思いますので、決して皆さんの部分について、整理をしながら意見を言わなかったということではなくて3名で一生懸命、委員会を務めさせていただいたということをご理解いただきたいというふうに思います。以上です。

○司会（関根正明） あとほかに何かございますか。

○市民C 先ほどに関してですね、小学生、中学生が議会とタイアップして授業をやっています。特に若い人たちの政治離れっていうんですかね。そういう面がありまして、18歳以上から選挙権があるわけですけども、例えば成人の集いですか。成人式って。非常に小・中学生の授業がよに参加する人たちを対象にして、議会とのあるいは一般質問的なこと。中学生とやったような、若い人たちも対象に拡大したらどうかだったんですけどね。ぜひ、若者を対象とした議会との授業を検討してくれればと思います。

○司会（関根正明） 高校生に対しては出前講座っていう形で、行ってるんですけどその

辺ちょっと委員長の方からご説明願いたいと思います。

○高田議員（高田保則） 実はこの広報広聴委員会が主催で新井高校の政治経済、普通のカリキュラムではなくて、課外授業的な科目があるんですが、その政治経済をやっている人たちが、約22人くらいいるということで、その担当の先生とお話して、でき上がったんですが、ちょっと時間の関係でですね、なかなか意見交換会は難しいんですけども、ただ、今日のご覧になった約20分、この倍ぐらいの動画を当時上映して理解をしてもらったんですが、非常に関心は厚かったです。私も最後に、もう7年間勉強する時間があるから25歳になったら立候補してくれという最後の挨拶したんですが、

それともう一つはね、今回新聞にも出ましたけども、トキ鉄の新井駅構内に、studyオアシスという場所を設けたんですね、それは新井高校の人たちが駅前に時間を潰す場所がないんだと。何とかならないかなということで、それを参考にして、トキ鉄と議会が交渉しまして、改札を入ったところの右側ですけども約15人ぐらい入る部屋をトキ鉄で作ってくれましてね。そこで余裕の時間を勉強してもらおうというような話でございます。ですから意外と今の18歳という人たちは、政治には興味をお持ちだなというふうに考えました。ただですね、それが学校の制約で例えば今回のいろいろな選挙がありますけども、そこに参加するというようなことは多分できないんじゃないかなと思うんですけども、いずれにしろ出前講座それからこども議会、そんなようなことも議会でも、今年度初めてやったもんですからね。これからそれを参考にしながらということでありますので、今、おっしゃったようなこともこれからも考えていきたいというふうに思います。

○司会（関根正明） ○○さん

○市民A 最後に私が今日一番言いたかったことは、去年もお話しました双眼鏡の一件なんです。今日も市役所に行ったら、課の場所が変わっていたんですね。それも私知らなかったんですけども、だから双眼鏡を持っていく。一律にしなくてもいいけれど、私たち一番、私と○○さんとで年間の出席率9割以上なんですけども、その中で言いたいのは、本会議場で報道関係者席からいびきをかいて、議長の隣にいる議会事務局の職員があわてて飛んでくるようなことをしたり、本会議中に議員がスマホを使っていた、私と○○さんと確認しました。議長から見えないんですよ。だからそういうことを、する人に比べたら私たち2人は議長の注意を1回だけ受けましたけれど、それ以降は受けていません。議長、去年、説明したときに、双眼鏡落を落とす可能性もあると言われてました。だから、受け付けの時にもらう、ここにある資料なんかを、私たち2人は、議場に落とすこともなければ、落とすようなことを、飛行機にして飛ばした覚えも何もありません。だから私の言いたいのは、傍聴席の場所で自分なりに測ったら落ちるわけじゃないんですよ。だから私は今日、本当は佐藤議長が来て、こういう話をしたかったんですよ。だから、いかに、俺たち2人しかいませんけれど、この人たちみんなだね、議会傍聴にみんな来てもらいたいと私は思います。1人でも多く、

2人しかいないんですから寂しいですよ。

○市民D とにかく抽選でやるようなね、人がき、来てくれればいいんだよ。定員40名100名が来て入れませんでください。

○市民A だからそれだけ興味がないって言われればそれだけの話だろうけれど、私最初に言っておきますが、足引っ張る目的でこういう話をしてるわけでも何でもありません。お互いに勉強しましょうよ。だから今日私、去年言った2年前から言った、国体のことについても、お互いに、もう今年で国体という名のスキーの大会はもうないというんですから。いかにどれだけお金をかかったかということをお互いに、勉強しましょうよ。だから2年前ここでやったときに、私たちはこういうところで話した時のように、図書館はいるんですかという発言も、勉強すれば、そういう発言もなかったんじゃないのかなと私は思います。だからお互いに、こういうことはこうなんだよと、私は自慢じゃないけれど、テレビのクイズ番組やってるわけでも何でもありません。だからそういうことを理解してもらいたいと私は思います。だから双眼鏡に関しては、議長と立ち会いのもとで皆さん議員と私達、最低でも私とで、あそこの傍聴席は一番前はどのようになっているかっていうのを、お互いに勉強しようじゃないですか。あそこで落とすってのは本当に故意でやるしかないんですよ。以上です。

○高田議員（高田保則） 傍聴席、持ち込みが何がいけないか、何がいかって、全国の各議会でもまちまちなんですよ。私どもも議会の中でいろいろ検討した中で、一つは凶器の問題。それから落下物の問題、そういうものが検討されたわけですが、〇〇さん落ちっこないよということもありますけども、一応各議会も、全国の議会でも、そういうものが、持ち込みちょっと厳しいなっていう前例が多々ありますので、私どもの方も、それにすればいいんじゃないかというような考え方で、全員協議会の中で賛成をしてもらったという経過がございます。

○市民A だからその時に、無理してまで他と横並びにする必要はないんでないですかということを去年言ったわけですよ。だからその時に佐藤議長は、落とす可能性があると言いましたね。だからあの状態で落とす可能性なんか故意でなければ落ちないんですよ。わかります。どのぐらいの厚みの板がどのように並んでいるか。私は自慢じゃないけれど、このボールペンを持ってってこう測りました。厚みと。だからその時にスケール持ってって、スケールだって禁止だろうし。いいのはまだあれでしょ、スマホだって電源切りなさい。マナーモードにしろなさいということをお互いにみんなで守っているんですから。だから、過去の事例は何もありません。だからそういうことに対して、変なところで、横並びにする必要は何もないんじゃないですか。だったら私たち課長の名前と顔がわからないから、あそこでいけば一覧でみんな見えるから、そういうこと言ってるだけの話なんですよ。だからその時に去年お話しとおおり、手帳を見たら妙高市議会手帳というのを持っているのはわかったし、だからあれは多分、県民手帳を、表紙を変えただけなんだと私は思いました。それを基準にして4年前

に当時の議長が答えたんですから。わかります。あの時に言ったのはね、私、胎内市のことについて聞いたら、間違っただけを言ったんですよ。だから去年言いましたよね。新聞社から胎内市の議会事務局までみんな私は電話かけて聞いたと。答えも間違っていたんですよ。そういうことを、だから足引っ張る目的じゃなくお互いに勉強しましょうっていうのが私のそこの原点なんです。まるで頭ごなしに上から目線で答えたんですから、それはそれなりの責任あると思いますよ。間違っただけに対して。だからお互いに勉強しましょうというのが私の考えです。以上です。

○司会（関根正明） よろしいですか。

○市民A もう答えいいです。

○司会（関根正明）他に何かございませんか。よろしいですか。

4. 閉会あいさつ、閉会

○司会（関根正明）

活発にご意見をいただきまして、予定した時間も経過しておりますので、本日の議会報告会、意見交換会はここで閉じさせていただきたいと思います。

以上をもちまして、議会報告会、意見交換会を閉会いたします。本日は大変ありがとうございました。

[拍手]

閉会 午後8時42分